

2021年度  
(令和3年度)

# 事業報告書

## 目次

I	2021年度事業報告	2
	1. 国内における平和構築活動	2
	2. 海外における平和構築活動	9
	3. 財務体質の強化	13
II	組織	14
III	会議	17



公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟

## 2021 年度事業報告にあたって

新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見られない状況の下、2021年度事業計画では、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）や動画配信活用の強化、次世代のリーダーの育成やグッドプラクティス賞によるユネスコ協会・クラブの地域課題解決能力強化、を通じて民間ユネスコ運動の更なるパワーアップを図ることに、事業のポイントを置きました。また自然災害時の教育復興への寄与を図ることも重点としました。

日ユ協連史上初の全国大会のライブ配信をはじめ、オンラインスタディツアー、SDGsアシストプロジェクトの活動発表会、グッドプラクティス賞受賞団体の活動紹介、さらには、FacebookやYouTubeを通じた発信も進め、コロナ禍中の民間ユネスコ運動活性化対策として、オンライン活用の第一歩を着実に踏み出せました。

また、3回のリーダーセミナー開催、グッドプラクティス賞での5団体受賞など、コロナ禍中ながら運動のパワーアップを目指した事業も展開しました。

リーダーセミナーでは、優良事例発表で共有された事例（カレンダー市による収益募金）を参考に、参加ユネスコ協会・クラブが活動企画に取り組んだり、非営利団体マネジメントスキルを受講した各協会・クラブが、内部環境や外部環境を見直し、活動を再検討したりと、新しい学びが生まれています。

また、グッドプラクティス賞を受賞した協会からは、会員のモチベーションアップになった、会員増につながった、行政との連携が強まったなど、民間ユネスコ運動の知名度向上や運動の活性化につながったという声が届けられました。

自然災害時の教育復興への寄与に関しては、昨年度「災害子ども教育支援」を立ち上げることができました。教育復興支援を中心に据えた災害支援の中長期的な共通ガイドラインを策定し、支援基盤を構築したことで、全国どこで災害が起こった時にも、迅速かつ着実に支援ができるようになったと同時に、会員や既存の支援者に周知するとともに、事業広報によって新たな賛同者も広げることができました。

年度末のウクライナ危機に対しては、日ユ協連としての声明を発表し、ウクライナから周辺国に流出する避難民の支援を開始しました。

相変わらずコロナ禍が続いていますが、上でハイライトした活動、あるいはこれから説明するもろもろ活動の成果が得られたのは、一年間民間ユネスコ運動を盛り立て支えてくださった皆様のお陰であると、深く感謝申し上げます。

# I 2021 年度事業報告

## 1. 国内における平和構築活動

### (1) 子ども教育支援

子どもたちが安心して就学できる環境を整備する教育支援および質の高い教育を提供するプログラム支援を行う。

#### ① 自然災害の被災地における教育復興支援

自然災害によって被災した児童・生徒を対象にした奨学金の給付等の教育支援を行う。

##### (a) ユネスコ協会就学支援奨学金

東日本大震災により経済状況が悪化した家庭の子ども（中学3年生～高校2年生）を対象に、給付型奨学金制度（一人当たり2万円/月・3年間）を継続して実施した。

2021年度は、2019年度・2020年度に採用した奨学生への2年目、3年目の給付、および2021年度に新規採用した奨学生への1年目の給付を行い、計269名を支援した。

また、ユネスコ協会就学支援奨学金の募金者や会員などに対し、当事業の成果を報告するために、「ユネスコ協会就学支援奨学金レポート2020」を5000部制作し配布した。

2021年度支援した地域：

岩手県/大槌町4名、陸前高田市1名、山田町2名、大船渡市3名、宮古市4名

宮城県/東松島市7名、石巻市26名、気仙沼市14名、山元町1名、

南三陸町5名、名取市5名、岩沼市3名、多賀城市1名、仙台市1名

福島県/いわき市1名、富岡町1名、南相馬市1名、相馬市1名、双葉町5名、  
楡葉町1名

##### (b) MUFJ・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金

三菱UFJフィナンシャル・グループと協働で、東日本大震災で遺児・孤児となった子どもたちが小学校入学から高校を卒業するまでの「奨学金プログラム」

を、継続して実施した。2021年度は、274名に奨学金（月額2万円）を給付した。

(d) 災害子ども教育支援

自然災害によって被災した国内の学校等を対象にした助成や、被災生徒を対象にした奨学金支援（返還不要）、復興ボランティアを行う青年等に対する支援を開始した。

② SDGs達成に向けた次世代育成

持続可能な社会の実現のために、教員や学校に対する教育研修プログラムを行う。

(a) アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

アクサ生命保険株式会社の協力を得て、学校の減災教育推進を支援した。

(ア) 助成校27校を採用（公募）。1校つき10万円の助成金を支給した。

(イ) 9月19日～20日、教員研修会を実施。（助成校教員27名参加）東日本大震災被災地の教訓や、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す、減災教育の実践を学ぶ機会を提供した。

(ウ) 2022年2月25日、活動報告会を実施。（助成校教員27名参加）

(エ) 2022年2月26日、減災教育フォーラムを実施。（教員、教育関係者他140名参加）基調講演、パネルディスカッション、被災地域の学校の実践事例や教訓の共有・発信を行った。

※（イ）～（エ）はオンラインで実施した。

(b) 教育ツール開発事業

児童・生徒が、SDGsへの取り組み、特にSDG4.6の非識字という世界的課題を学び、リーフレットの制作を行う等、教育ツールを開発する事業への支援を行った。今年度の「寺子屋リーフレット制作プロジェクト」には、全国の小・中・高等学校から24校1,800名が参加した。

(c) ユネスコスクール推進事業

青少年へのユネスコ活動普及のために、全国のユネスコスクール等を対象とし、SDGsへの取り組み活動を、株式会社三菱UFJ銀行の協力を得て支援した（第13期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト）。2021年度は、申請89

校のうち78校に対して助成を行った。また、12月には、助成校間の交流を推進する目的で、代表校6校の児童らによる活動発表会をオンライン開催した。

### ③その他の類する事業

#### (2) 地域遺産・世界遺産の保護保全・啓発

世界遺産ならびに地域の有形・無形の文化、自然環境の保護・保全支援、啓発活動を行う。

##### ① 地域遺産の保護・保全支援

国内の文化や自然環境の保護・保全、次世代への継承を推進する。

###### (a) 未来遺産運動

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、昨年に続き、新たな「プロジェクト未来遺産」の募集・登録は中止とした。他方で、コロナ禍でも活動を推進している「プロジェクト未来遺産」の活動を応援するため、団体同士の情報交換の場としてオンライン交流会を実施した。初回の11月19日には、無形文化を対象に活動する9団体、続く12月22日には、有形文化を対象に活動する15団体が参加し、活動を推進していく上での課題や工夫について、専門家の助言も交えながら活発な議論が交わされた。

また、特にコロナ禍で影響を受けている無形分野の8プロジェクトを対象に「コロナ特別応援金」として1プロジェクト10万円の支援を行った。

##### ② 世界遺産の保護・保全支援

「PIECE OF PEACE『レゴ®ブロック』で作った世界遺産展Part4」、世界遺産カレンダー制作協力、世界遺産に関する各種問い合わせ対応などを引き続き行った。

##### ③ その他の類する事業

#### (3) 多文化共生促進

国籍や民族等の異なる文化を認め合い、学び合い、共生に向けた相互理解を促進する。

##### ① 国際理解・交流プログラム

当連盟の支援対象地域を含む国々の多様な文化を学び、相互理解を促進する機会を提供する。

(a) スタディツアー

当連盟の寺子屋運動実施国に参加者公募の上、審査を経て、ユースや協力者等を派遣する。高校生を対象にしたスタディツアーは、かめのり財団との共催。2021年度は、2019年度参加高校生による企画・運営のもと、全国14校・約200名の高校生を対象として、2021年8月21日（土）にオンラインで実施した。カンボジア事務所や現地の寺子屋、学習者の自宅などを中継でつなぎ、民間ユネスコ運動による国際協力を学ぶ機会を提供した。

(b) 三菱アジア子ども絵日記フェスタ

アジアの6歳から12歳（24の国と地域）を対象とした絵日記コンテストを通じ、青少年の国際相互理解を促進した。三菱広報委員会、AFUCAと共催し、各国へ絵日記の募集を呼びかけ、21の国と地域から27,135作品の応募があった。また、国内では6校でのSDGsに関する出前授業や、福岡、名古屋でのパネル展示会なども実施し、絵日記事業のPRを行った。

**② UNESCO関連団体との連携促進**

UNESCOをはじめ、WFUCA（世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟）やAFUCA（アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟）と連携をはかり、民間ユネスコ運動を推進する。

(a) 世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟（WFUCA）の活動振興

世界で民間ユネスコ運動の普及のために活動する同連盟と連携し、ユネスコ精神のさらなる普及を図るための情報交換を行った。

(b) アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟（AFUCA）の活動振興

アジア太平洋地域で民間ユネスコ運動の普及のために活動する各国の協会連盟と連携を図り、ユネスコ活動を推進した。加盟団体との連携強化や具体的活動の振興のための情報交換を実施した。

(c) UNESCO、関係団体との連携

UNESCO との協力協定（日本国内における UNESCO への資金調達）に基づき、「UNESCO 公式サポーター」企業との連携を行った。UNESCO や関係団体からの

要請が無かったため、海外の災害支援等は実施しなかった。

### ③その他の類する事業

#### (4) 地域草の根推進

平和な社会の実現に向け、地域の課題解決に資する民間ユネスコ運動を推進する。

##### ① 地域草の根プログラム

会員および開催地等の市民が集い、地域から平和を考える各種会合を行う。

###### (a) 第77回日本ユネスコ運動全国大会 in 大阪

民間ユネスコ活動推進のため会員及び開催地市民に、日ごろのユネスコ活動の情報提供を行うとともに、大会テーマについて研鑽に努めた。本年は、大阪府堺市で実施し、約400名が参加した（会場参加およびYouTube視聴者の合計）。

テーマ いのち輝く持続可能な世界を未来へ繋ぐ

～大阪から世界へのメッセージ～

日程 2021年12月5日（日）

会場 桃山学院教育大学（およびYouTubeでの配信）

主催 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 / 近畿ユネスコ協議会

###### (b) ブロック別ユネスコ活動研究会（全国9ブロック）

民間ユネスコ運動推進のため、会員及び開催地の市民を対象とした研究会を下記の6ブロックで開催した。SDGsやジオパークを大会テーマとし、オンラインを併用して実施した。なお、東北〈青森県〉および中部西〈岐阜県〉の大会は中止された。

10月9日（土）北海道ブロック研究会（主管：小樽ユネスコ協会）

10月2日（土）関東ブロック研究会（主管：栃木県ユネスコ連絡協議会）

11月20日（土）中部東ブロック研究会（主管：神奈川県ユネスコ連絡協議会）

10月9日（土）中国ブロック研究会（主管：鳥取ユネスコ協会）

9月19日（日）四国ブロック研究会（主管：北条ユネスコ協会）

10月16日（土）九州ブロック研究会（主管：都城ユネスコ協会）

##### ②ユースプログラム

青少年の育成に資する民間ユネスコ運動を推進する。

(a) 青少年活動助成

全国のユネスコ協会・クラブが行う青少年を対象としたSDGs実現に資する活動に対して、2021年度は合計で44件の助成を行った（支援総額は2,522,123円）。助成事業は、ユネスコスクールとの連携や国際交流のほか、地域での新型コロナウイルス対策を新たに助成対象とした。

(b) 青年ネットワーク強化

青年評議員や全国的青年連絡組織等による青年のネットワーク強化を検討する会議の開催や、青年全国大会等活動や運営の支援を行った。

(c) みどりの絵コンクール

環境意識の啓発を目的に、公益財団法人三菱 UFJ 環境財団との共催で、第46回「みどりの絵コンクール」を実施した。当コンクールへの応募総数 28,628点の中から、最優秀賞 9人・優秀賞 32人・入選 354人を選考した。なお、例年、東京都千代田区で行われる最優秀賞の表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止した。

### ③活性化推進プログラム

民間ユネスコ運動の次世代の担い手（ボランティア）を育成し、さらなる活性化を推進する。

(a) 日ユ協連リーダーセミナー

これからの民間ユネスコ運動の担い手を対象に、下記のオンラインセミナー（講義やワークショップ）を実施した。

第1回 2022年3月19日（土）10:30～13:00

「各地のユネスコ協会・クラブの活動から今後のヒントを」（28名参加）

第2回 2022年3月26日（土）10:30～13:00

「ユネスコ活動に役立つIT講座—Zoomを使いこなす」（10名参加）

第3回 2022年3月26日（土）15:00～17:00

「非営利組織・NPOの運営を学ぶ」（7名参加）

(b) 民間ユネスコ運動顕彰事業（ユネスコ活動グッドプラクティス賞）

市民に開かれた他のユネスコ協会・クラブのモデルとなり波及が見込まれる活動を公募した。2021年度は12件の応募があり、下記の5事業をグッドプラクティス賞として表彰した。



- 1) 文化財修復を三位一体で取り組み、地域に活性化をもたらす活動  
(津山ユネスコ協会)、
- 2) 旭川市のユネスコ創造都市ネットワーク推進における協働  
(旭川ユネスコ協会)
- 3) クラウドファンディング～新型コロナウイルスに負けない支援の継続～  
(札幌ユネスコ協会)
- 4) いわきユネスコ協会「出前授業」(いわきユネスコ協会)
- 5) 40年以上継続中「国際理解バス」事業(群馬県ユネスコ連絡協議会)

(c) 民間ユネスコ運動の普及、促進

コロナ禍で制限はあったなか、民間ユネスコ運動の日(「平和の鐘を鳴らそう」等含む)の普及を図るとともに、3件のユネスコ協会新設のサポート、ユネスコ協会・クラブとの情報共有のためのユネスコ協会便毎月配信・動画配信、官民あがてのユネスコ活動の普及のための文科省・日本ユネスコ国内委員会等との連携を行った。

#### ④その他の類する事業

#### (5) 普及広報・財務強化

UNESCO憲章の理念に基づき、平和や教育、文化等の重要性を発信し、SDGs達成に寄与する取り組みをおこなう。

##### ①広報・PR

社会を巻き込み、当連盟が取り組む活動の認知向上を目指して広報・PRを行った。

(a) 機関誌、ホームページ、メールマガジン、SNS等における広報・PR

(b) 後援・共催等、他社主催事業・イベントへの協力

名義後援の対応を行い、日本ユネスコ協会連盟賞、等を授与した。

##### ②ファンドレイジング施策

SDGsの達成のために、賛同者を増やし、財政基盤の安定・拡大をはかった。

(a) 募金増強施策の実施

遺贈への賛同者や協力者を増やし、「月1いいこと募金」を増強し、新しい募金手法を拡充した。

(b) 寄付企画、会員拡充施策の実施

会員拡充および、会員等との連携強化を通じたファンドレイジング活動を実施した。

③その他の類する事業

2. 海外における平和構築活動

(1) 途上国における教育支援

途上国において、公的教育を受けられない大人や子どもを対象に、基本的人権である教育の機会を提供する。

①識字教育支援（世界寺子屋運動）

現地の教育省等と連携し、教育を受けられなかった大人や、公教育を受けられずにいる子どもたちへの識字教育支援、技術訓練等を行う。

(a) アフガニスタン（アフガニスタン寺子屋プロジェクト）

4月から8月にかけては、教育省識字局と連携し、カブール県など3県において、主に成人（15歳以上）の識字教育・技術訓練等の各クラス開催に向け教員研修を行った。また、新規寺子屋建設に向け、カブール県内および政府から推薦のあったナンガルハル州などの候補地に関する協議や情報収集を行った。なお、2021年8月の政変に伴い活動は一時休止しているが、今後の再開に向けて情報収集を行った。

(b) カンボジア（アンコール寺子屋プロジェクト）

シェムリアップ州教育局と連携し、州内全12郡で事業を展開した。成人識字教育、小中学校の中途退学者支援等の教育プログラムには合計895人が参加した。技術訓練などの収入向上活動には136世帯が参加し、子どもが働く必要のない生活基盤づくりに取り組んだ。並行して、各クラス教員および寺子屋運営委員向けの研修を合計49回開催し、のべ1331人が参加した。また、州北西部スレイスナム郡で、プロジェクト20軒目となるトラム・ササー寺子屋を建設した。

(c) ネパール

南部ルンビニ地域の3郡において、コロナ禍で困窮した子どもや若者とその家庭への支援を優先課題として事業を展開した。中途退学児童生徒向けの小・中学校クラス、幼稚園クラス、生徒の親への識字クラスや技術訓練などを実施し、108人が教員研修を受け、1490人が学んだ。その他、早婚防止などの意識啓発活動、寺子屋運営を担う住民や行政担当者等を対象とした研修会を実施した。

また、政府から寺子屋建設支援の要望のあった候補地を複数検討した結果、東部第1州スンサリ郡イナウラ市マデサ地域に決定し、建設工事を開始した。(22年度中に完成予定)

(d) ミャンマー

政変の影響により、2021年3月以降の活動を休止しているが、「中途退学児童生徒のため継続教育プログラム（識字・ライフスキル教育）」の再開に向け、対象地域であるバゴー地方域の4地区における情勢および、暫定政府による教育活動状況について、現地関係者から情報収集を行った。

② 識字教育普及促進プログラム

各地ユネスコ協会・クラブ、企業、団体、ユネスコスクール等と連携し、世界の識字問題の理解促進をはかる。

(a) 書きそんじハガキキャンペーン

2021年12月から2022年5月を強化期間とし、各地のユネスコ協会・クラブからの参加計139団体をはじめ、企業、諸団体および学校との協力のもと、回収活動を行うとともに一般への協力呼びかけを行った。企業や団体の協力を受け、雑誌や新聞、ケーブルTV、ラジオ等でもPRを行った。

③ その他の類する事業

(a) 他社主催イベントへの協力

NHK主催の「日本賞」において、途上国のESD（持続可能な開発のための教育）を促進する優れた番組企画として、ドゥルーパッド・コミュニケーション教育推進メディア（バングラデシュ）の企画「みんなで声をあげよう 性暴力についての沈黙を破るために」に対し、「日本賞・日本ユネスコ協会連盟賞」を授与した。

(b) 東ティモールにおける理数教育強化プロジェクトへの協力

(株) コーエイリサーチ&コンサルティングがUNESCOジャカルタ事務所から受託したプロジェクトのうち、ESD教材に係る部分を補強協力した。

## (2) 途上国への医療・食糧支援（一杯のスプーン）

途上国のアジア諸国における貧困層を対象に無償の医療、食糧支援を行う。

### ① 医療・食糧支援（一杯のスプーン）

世界寺子屋運動を展開しているネパール、アフガニスタンにおいて、無償で医療・食糧支援を行う。

#### (a) ネパール

ルンビニ地域（ルパンデヒ郡、カピルバストゥ郡）の9軒の寺子屋周辺住民を対象に合計25回にわたり、無償の眼科検診、健康診断、母子保健や衛生教育などの意識啓発研修などを実施した。

#### (b) アフガニスタン

カブール市内のクリニックでの無償医療活動、薬の提供およびリハビリ治療の支援を行い、上半期（4～9月）中にのべ約4万4千人が利用した。また、同じく上半期中に低体重と診断された子どものいる1064世帯に対し、米や豆などの食糧支援を実施した。（下半期以降においても、現金引き出し額の制限を受けながらも診療活動および食糧支援を継続している。）

### ② その他の類する事業

ウクライナ情勢を受け、2022年3月4日に「ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金」を開設した。ルーマニアユネスコ協会センタークラブ連盟、チェルノフツィユネスコ文化センター（ウクライナ）、シグナス科学ユネスコ協会（ルーマニア）との連携のもと、ウクライナからルーマニア国境付近の地域に避難してきた人びとへの生活物資支援や一時滞在支援を開始した。

## (3) 世界遺産保護・保全支援

人材の育成や修復、世界遺産教育等を通じて、世界遺産の保護・保全を推進する。

### ① 世界遺産保護、保全支援

アジア諸国の世界遺産を中心に、修復技術の移転、人材育成、世界遺産教育を行う。

(a) カンボジア

新型コロナウイルス感染対策を講じながら、2021年12月21日～23日の3日間に分け、6つの寺子屋で学ぶ166名の子どもたちを対象にアンコール遺跡を訪問するスタディビジットを実施した。

また事前に、寺子屋の指導者を対象に、研修会を2021年11月10日～11日に開催した。子どもたちは教室内で学んだ後、実際にスタディビジットで遺跡を訪問するため、指導者研修会では、子どもたちに世界遺産の意義や価値を正しく伝えるための指導が行われた。

**②その他の類する事業**

### 3. 財務体質の強化

3ヵ年計画に基づき、民間ユネスコ運動の発展の基盤となる財務体質について、多様な手段（募金、寄付金、遺贈、事業収入）を駆使して強化を行った。

#### (1) 支援者強化

会員、特に維持会員を中心に拡充を行い、同時に、民間ユネスコ運動の協力者や支援者の増強を行った。また、会員証を作成し、維持会員142社に提供した。

#### (2) 募金者への報告と継続依頼の呼びかけの強化

募金者に対して、募金により実施した事業の成果の報告と、継続的の支援の呼びかけを行った。

#### (3) 「活動レポート」の制作・発送

募金により実施した事業の成果を募金者に報告するために「ユネスコ活動レポート2020」を28,000部制作・配布した。

#### (4) 民間資金・公的資金ファンドレイジング企画

企業と日ユ協連の協働が双方にとって意義のある寄付の仕組みを企画立案し、法人や団体に提案、また同時に日ユ協連の事業方針にマッチする公的資金の調査・検討を行った。

## Ⅱ 組織

(2022年3月31日現在)

### 1. 理事 (26) (五十音順) (\* 代表理事)

会長	佐藤 美樹*	朝日生命保険相互会社 特別顧問	非常勤<維持>
副会長	青木 保	ICOM日本委員会 顧問	非常勤<賛助>
副会長	大津 和子	北海道ユネスコ連絡協議会 会長	非常勤<個人>
理事長	鈴木 佑司*	法政大学名誉教授	非常勤<個人>
理事	安達 仁美	信州大学教育学部 准教授	非常勤<個人>
理事	今村 信大	磐田ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	及川 幸彦	東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター 主幹研究員	非常勤<個人>
理事	小山田 隆	三菱UFJ銀行 特別顧問	非常勤<個人>
理事	片島 康彦	株式会社電通コーポレートワン 総務センター 社会貢献部 ディレクター	非常勤<維持>
理事	木曾 功	元UNESCO政府代表部 特命全権大使	非常勤<会推>
理事	小竹 三恵子	ふくいユネスコ協会 副会長	非常勤<構成>
理事	佐藤 直子	杉並ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	土居 英雄	松山ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	中谷 祐太	公益社団法人仙台ユネスコ協会	非常勤<青年>
理事	中山 峰男	熊本ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	長坂 亮介	長野ユネスコ協会 理事	非常勤<青年>
理事	南口 純一	公益財団法人全国税理士共栄会文化財団 顧問	非常勤<維持>
理事	二瓶 和敏	二瓶総合法律事務所 弁護士	非常勤<会推>
理事	廣田 美貴子	札幌ユネスコ協会 副会長	非常勤<構成>
理事	牧 貞夫	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 相談役	非常勤<維持>
理事	松岡 盛人	広島ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	見上 一幸	公益社団法人仙台ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	安田 昌則	大牟田市教育委員会 前教育長	非常勤<個人>
理事	山中 健	芦屋ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	吉崎 晴子	認定特定非営利活動法人市川市ユネスコ協会 顧問	非常勤<構成>
理事	吉田 敦彦	大阪府立大学 特命副学長	非常勤<会推>

(注) <構成> : 構成団体会員代表、<賛助> : 賛助団体会員代表、<個人> : 個人会員代表、  
<維持> : 維持会員代表、<青年> : 青年代表、<会推> : 会長推薦

## 2. 監事 (3)

監事	齋藤 晴正	株式会社増田屋コーポレーション	代表取締役社長	非常勤
監事	永野 博	港ユネスコ協会	会長	非常勤
監事	増田 正志	増田公認会計士事務所	公認会計士	非常勤

## 3. 名誉会長 (1)

大橋洋治

## 4. 顧問 (11)

加藤玲子	児島 仁	千 玄室	千葉果弘
西村幸夫	野口 昇	濱中昭一郎	福原義春
松浦晃一郎	村田昌志	米田伸次	

## 5. 評議員数

会員種別	人数	定員
構成団体会員	100人	100人以内
(うち青年代表)	(9人)	(9人以内)
(うち国内委員会委員)	(9人)	(9人以内)
賛助団体会員	3人	5人以内
個人会員	19人	30人以内
維持会員	14人	15人以内
計	136人	150人以内

## 6. 会員数

会員種別	2020年度末	減	増	2021年度末
構成団体会員	276	5	3	274
賛助団体会員	19	2	0	17
個人・終身個人会員	230	19	0	211
維持会員	144	4	4	144
計	669	30	7	646

## 7. 会員の異動

### 構成団体会員

<入会> 3

みやぎ北ユネスコ協会 2021年5月15日第540回理事会承認

立教セカンドステージ大学ユネスコクラブ 2021年5月15日第540回理事会承認

伊都・高野山ユネスコ協会 2021年5月15日第540回理事会承認

<退会> 5

鶴岡ユネスコ協会、日立ユネスコ協会、岐阜長良川ユネスコ協会

別府ユネスコ協会、山形県ユネスコ連絡協議会



### 賛助団体会員

<入会> 0

<退会> 2

### 個人会員

<入会> 0

<退会> 19

### 維持会員

<入会> 4

なないろ生命保険株式会社	2021年7月17日第543回理事会承認
株式会社F.L.P	2021年7月17日第543回理事会承認
NHSインシュアランスグループ株式会社	2021年7月17日第543回理事会承認
株式会社バンザイ	2022年3月12日第547回理事会承認

<退会> 4

## 8. 地域的なユネスコ活動の領域を代表する日本ユネスコ国内委員会委員(2022年3月末現在)

北海道	林 朋子	(旭川ユネスコ協会会長)
東北	見上 一幸	(公益社団法人仙台ユネスコ協会会長)
関東・甲信越	松本 千恵子	(群馬県ユネスコ連絡協議会事務局長)
関東・甲信越	小池 治	(特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会理事)
中部	高木 要志男	(富山ユネスコ協会会長)
近畿	大濱 淳子	(大阪府ユネスコ連絡協議会監事、箕面ユネスコ協会副会長)
中国	鈴木 昌徳	(岡山県ユネスコ連絡協議会会長、津山ユネスコ協会会長)
四国	吉田 達哉	(新居浜ユネスコ協会会長)
九州	丸尾 直彦	(大分県ユネスコ協会連盟会長)
全国的連合組織	佐藤 美樹	(公益社団法人日本ユネスコ協会連盟会長)
全国的連合組織	鈴木 郁香	(柏ユネスコ協会理事)

## Ⅲ 会 議

### 1. 総会

#### 第72回定時総会

日 時 2021年6月12日(土) 14:30~16:00

場 所 大手町サンスカイルーム 27階 A室

議 長 会長 佐藤 美樹

議決権を有する社員の総数 647名

総議決権数 647個

出席社員数 527名(委任状提出者を含む)

出席の社員が有する議決権数 527個

議 題

#### 【決議事項】

第1号議案 2020年度事業報告書(案)及び計算書類等(案)

第2号議案 評議員及び理事・監事の選任

#### 【報告事項】

2021年度事業計画書及び収支予算書

### 2. 理事会

#### 第540回理事会

日 時 2021年5月15日(土) 14:00-16:10

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 24名 ※理事総数27名

議 題

I. 第539回理事会議事要録の確認(3月末に内閣府提出済)

II. 決議事項

1. 会員の入会

2. 2020年度事業報告書(案)及び2020年度計算書類等(案)

(1) 2020年度事業報告書(案)

(2) 2020年度計算書類等(案)

3. 第72回定時総会の開催(案)

4. 次期役員(理事・監事)の選任における会長推薦理事候補(案)

5. 2022年度全国大会の開催(案)

III. 協議事項

・部会等からの報告・提案事項等

(1) 財務部会

(2) 組織部会

(3) 地域代表・青年代表理事会議

IV. 報告事項

1. 2019年度決算処理に関する内閣府からの要請に対する定期提出書類の修正

2. 選考委員会報告
3. 2020年度 事業進捗報告
4. 代表理事の職務執行状況報告(2021年3月13日～2021年5月14日)
5. 後援・共催事業
6. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
7. 事務局人事(4/1)
8. その他(2021年度-2022年度理事会日程の一部変更等)

#### 第541回理事会

※2021年6月12日(土)の総会直前を予定していたが、議題がないため中止

#### 第542回理事会

日 時 2021年6月12日(土) 16:30-17:00

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 20名 ※理事総数26名

議 題

##### I. 決議事項

1. 代表理事・会長の選定
2. 副会長、代表理事・理事長の選定
3. 名誉会長、顧問の選任
4. 「定款に基づく事業に関するガイドライン」の策定

#### 第543回理事会

日 時 2021年7月17日(土) 14:45-16:30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 23名 ※理事総数26名

議 題

##### I. 第542回理事会議事要録の確認(6/30内閣府提出済)

##### II. 決議事項

1. 会員の入会
2. 2021年度以降の理事会運営に関する基本方針
3. 役員賠償責任保険の加入

##### III. 報告事項

1. 内閣府への変更認定申請の進捗(「定款に基づく事業に関するガイドライン」の策定経緯等含む)
2. 2021年度 事業進捗報告
3. 代表理事の職務執行状況報告(2021年5月15日～2021年7月16日)
4. 後援・共催事業

5. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
6. その他

#### 第544回理事会

日 時 2021年9月11日(土) 14:00-16:00

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 25名 ※理事総数26名

議 題

I. 第543回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 「災害子ども教育支援」運営委員会の委員の委嘱

III. 協議事項

・部会等からの報告・提案事項等

(1)組織部会

(2)財務部会

(3)定款・諸規程改定検討部会

(4)世界寺子屋運動部会

(5)地域代表・青年代表理事会議

IV. 報告事項

1. 2021年度 事業進捗報告

2. 代表理事の職務執行状況報告(2021年7月17日~2021年9月10日)

3. 後援・共催事業

4. 日本ユネスコ国内委員会関係報告

5. ACCUとの更なる連携強化

6. 事務局人事(9/1)

7. その他(当連盟の活動紹介動画の視聴&各地域での普及方法について意見交換)

#### 第545回理事会

日 時 2021年11月13日(土) 14:00-16:35

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 20名 ※理事総数26名

議 題

I. 第544回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 「災害子ども教育支援」運営委員会の委員の委嘱

2. 特定資産「災害子ども教育支援積立資産」の新設および「公益事業維持資産」から「災害子ども教育支援積立資産」への振替

3. 特定資産「普及広報引当資産」の新設

4. 「使途指定のない遺贈の配分基準」の策定

Ⅲ. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

- (1) 組織部会
- (2) 財務部会
- (3) 定款・諸規程改定検討部会
- (4) 世界寺子屋運動部会
- (5) 地域代表・青年代表理事会議

2. ACCUとの統合の検討の進捗状況（当日追加議題）

Ⅳ. 報告事項

1. 担当理事からの報告（「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム オンライン教員研修会」実施報告等）
2. 民間ユネスコ運動70周年ビジョン・ミッション第1期3カ年計画レビュー
3. 2021年度 中間決算報告
4. 2021年度 事業進捗報告
5. 代表理事の職務執行状況報告（2021年9月11日～2021年11月12日）
6. 後援・共催事業
7. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
8. 情報セキュリティ監査報告
9. 第53回評議員会議題、第54回評議員会の運営
10. その他

**第546回理事会**

日 時 2022年1月15日（土）14：00-16：30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 22名 ※理事総数26名

議 題

Ⅰ. 第545回理事会議事要録(案)の承認

Ⅱ. 決議事項

1. 「倫理規程」、「行動規範」、「懲罰規程」の制定
2. 事務局長人事

Ⅲ. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

- (1) 組織部会
- (2) 財務部会
- (3) 定款・諸規程改定検討部会
- (4) 世界寺子屋運動部会
- (5) 地域代表・青年代表理事会議

2. ポストコロナ時代の総会、理事会、評議員会の在り方（案）

3. 民間ユネスコ運動70周年ビジョン・ミッション 次期中期事業計画(案)
4. 2022年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
5. ACCUとの合併契約書(案)

#### IV. 報告事項

1. 担当理事からの報告
2. 第53回評議員会にて提出された意見(第53回評議員会議事要録)
3. 2021年度 事業進捗報告
4. 代表理事の職務執行状況報告(2021年11月13日～2022年1月14日)
5. 後援・共催事業
6. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
7. 日本ユネスコ国内委員会委員(新任地域代表委員)の当連盟評議員就任
8. 第54回評議員会の議題
9. その他

### 第547回理事会

日 時 2022年3月12日(土) 14:00-16:25

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 22名 ※理事総数26名

#### 議 題

##### I. 第546回理事会議事要録(案)の承認

##### II. 決議事項

1. 会員の入会
2. 「倫理規程」、「懲罰規程」の一部改定(案)
3. ポストコロナ時代の理事会、評議員会等の見直し
4. 「ポストコロナ時代の理事会、評議員会等の見直し」に伴う定款・関連規程の改定(案)
5. 民間ユネスコ運動70周年ビジョン・ミッション 次期中期事業計画(案)
6. 2022年度事業計画書(案)・収支予算書(案)・資金調達及び設備投資の見込み(案)
7. ACCUとの合併契約書(案)

##### III. 協議事項

・部会等からの報告・提案事項等

- (1) 組織部会
- (2) 財務部会
- (3) 定款・諸規程改定検討部会
- (4) 世界寺子屋運動部会
- (5) 地域代表・青年代表理事会議

##### IV. 報告事項

1. 定款第64条委員会からの報告
2. 担当理事からの報告(「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム 活動報告会・減災教育フォーラム」実施報告、「ユネスコスクール SDGs アシストプロジェクト審査会」

報告)

3. 第54回評議員会にて提出された意見(第54回評議員会議事要録)
4. 2021年度事業進捗報告
5. 代表理事の職務執行状況報告(2022年1月15日~2022年3月11日)
6. 後援・共催事業
7. 第55回評議員会の中止と対応
8. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
9. その他(2022年度の会議日程(予定))

### 3. 評議員会

#### 第53回評議員会

日 時 2021年11月27日(土)(書面開催)

議 長 会長 佐藤 美樹

出席評議員数(回答書提出評議員数)103名 ※評議員総数135名

議 題

<報告事項>

1. 2021年度以降の理事会運営に関する基本方針
2. 新規事業「災害子ども教育支援事業」について
3. 2021年度 事業進捗報告
4. 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)との協力関係の構築

#### 第54回評議員会

日 時 2022年1月29日(土)14:00~16:10

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席評議員数 95名 ※評議員総数136名

議 題

・第53回評議員会 議事要録の確認

<報告事項>

1. 日本ユネスコ国内委員会委員(新任地域代表委員)の当連盟評議員就任
2. 民間ユネスコ運動70周年ビジョン・ミッション 次期中期事業計画(案)
3. 2022年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
4. 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)との協力関係の構築に向けた統合の検討
5. 「倫理規程」「行動規範」「懲罰規程」の制定
6. ポストコロナ時代の総会、理事会、評議員会の在り方(案)
7. 部会等からの報告
  - (1)組織部会
  - (2)財務部会
  - (3)定款・諸規程改定検討部会

- (4) 世界寺子屋運動部会
  - (5) 地域代表・青年代表理事会議
8. 2021年度 事業進捗報告

#### 4. 理事会運営体制

(1) 部会等（2021年4月～第72回定時総会（2021年6月12日）まで）

第531回理事会（2019年7月20日）で設置を承認。

##### ①部会

###### ア. 組織部会

###### ◆テーマ・課題：

- ・ 構成団体の入退会、その他の会員の承認等
- ・ 構成団体の運営に関する指導と助言
- ・ 全国大会、ブロック研究会等の運営指針
- ・ 青少年活動及び全国的青年組織の活性化策
- ・ 検討要請事項及び、正副部会長並びに事務局担当部との協議にて決定した事項

###### ◆構成メンバー

部会長：引地瑠美子（副会長）

部会員：二瓶和敏（理事/副部会長）、宮下晶子（理事）、鈴木郁香（理事）、  
串田昭光（評議員（高崎ユネスコ協会））

リソースパースン：安達仁美（理事）

###### ◆開催日

2021年5月13日（オンライン開催）

###### イ. 財務部会

###### ◆テーマ・課題：

- ・ 財務構造の明確化、財務基盤の強化策（維持会員の拡充や遺贈の増強等）
- ・ 広報担当理事と連携したメディア活用の在り方
- ・ 検討要請事項及び、正副部会長並びに事務局担当部との協議にて決定した事項

###### ◆構成メンバー

部会長：牧貞夫（理事）

部会員：東良和（理事/副部会長）、片島康彦（理事）、  
平松哲郎（評議員（維持会員 日本土地建物株式会社））

###### ◆開催日

2021年5月6日（オンライン開催）

##### ②地域代表・青年代表理事会議

###### ◆テーマ・課題：

- ・ 地域内外および地域を超えた今後の民間ユネスコ運動のあり方の構築と理事の役割
- ・ 地域ユ協と連盟との連携促進策
- ・ 会長要請事項及び議長、副議長並びに事務局担当部との協議にて決定した事項



◆構成メンバー

議長：白石勝洋

地域代表理事：吉崎晴子(副議長)、外岡学、工藤昌雄、宮下晶子、小池治、平井花画、  
芝本和己、松岡盛人、吉田達哉

青年代表理事：鈴木郁香、名取亮介

◆開催日

2021年4月10日(オンライン開催)

③連盟幹部会

◆役割

統一的施策をスピーディーに実行すべく、各部会・会議間の連携を図る。

◆構成メンバー

佐藤美樹(会長)、青木保(副会長/知と平和の文化部会長)、引地瑠美子(副会長/組織部  
会長)、白石勝洋(理事/地域代表・青年代表理事会議議長)、二瓶和敏(理事/定款・諸  
規程改定検討部会長)、牧貞夫(理事/財務部会長)、鈴木佑司(理事長)

◆開催日

2021年5月14日(オンライン開催)

(2)部会等(第72回定時総会(2021年6月12日)以降)

第543回理事会(2021年7月17日)で設置を承認。

①部会

ア.組織部会

今後の組織(構成団体会員、個人会員)の活性化、特に次世代育成のための中長期ビ  
ジョンの策定。

◆テーマ・課題

- ①加盟協会・クラブの活性化のための調査、施策形成
- ②個人会員の在り方の検討
- ③次世代育成のための調査と施策形成
- ④ユネスコ国内委員会(同小委員会を含む)との連携の推進、共創プラットフォームとの協働
- ⑤構成団体の新規登録への資格審査

◆構成メンバー

部会長 大津副会長、副部会長 佐藤直理事

メンバー 串田評議員(高崎ユネスコ協会)、安達理事、長坂理事

◆開催日

2021年8月31日(オンライン開催)、2021年11月8日(オンライン開催)、  
2022年1月12日(オンライン開催)、2022年3月8日(オンライン開催)、

## イ. 財務部会

同部会では維持会員数の増強強化、全体の収支透明化、遺贈対策等を実施してきたが、その上に立ち、更なるドナー対策（CRM）を検討。

### ◆テーマ・課題

- ①維持会員の新規登録と維持会員間コミュニケーションの推進
- ②ファンドレイジング、とりわけきめ細やかなドナー対策の推進
- ③戦略的広報

### ◆構成メンバー

部会長 牧理事、副部会長 平松評議員（中央日本土地建物株式会社）  
メンバー 片島理事

### ◆開催日

2021年9月3日（オンライン開催）、2021年11月10日（オンライン開催）、  
2022年1月13日（オンライン開催）、2022年3月10日（書面開催）、

## ウ. 定款・諸規程改定検討部会

今後の組織のガバナンス、手続き規程、さらにコンプライアンスを含めた抜本的な検討とそれに即した定款・諸規程の見直し。特に、個別の会員（構成団体会員、個人会員等）がかかわるトラブルへの協会連盟の関わり方について検討。

### ◆テーマ・課題

- ①定款の見直し、特に連携等について
- ②関連諸規程の見直し
- ③会員の賞罰規程導入の検討
- ④ポストコロナ時代の総会、理事会、評議員会の在り方の検討  
\*特に今④は以下の地域代表・青年代表理事会議とも連携が必要。

### ◆構成メンバー

部会長 二瓶理事、副部会長 吉崎理事  
メンバー 小竹理事、松岡理事

### ◆開催日

2021年9月8日（オンライン開催）、2021年11月5日（オンライン開催）、  
2021年12月14日（オンライン開催）、2022年2月15日（オンライン開催）

## エ. 世界寺子屋運動部会

30周年以降の世界寺子屋運動に関する部会を設置し、SDGs 実現に向けた中長期的展開を検討。

### ◆テーマ・課題

- ①世界寺子屋運動のレビューと2030年に向けた長期計画の検討
- ②構成団体会員、学校等を含む協力団体やドナーによる国際協力、国際理解、国際支援に資する総合的戦略の形成
- ③平和・世界遺産関連などの活動と教育分野の活動との連携可能性について更なる検討

◆構成メンバー

部会長 小池前理事(評議員：鎌倉ユネスコ協会)、副部会長 今村理事、  
メンバー 識字専門家、国際協力・支援専門家(専門家は適宜選考、任命する)

◆開催日

2021年9月3日(オンライン開催)

※勉強会(全てオンライン開催)

第1回 2021年9月29日、第2回 2021年10月13日、

第3回 2021年11月16日、第4回 2021年12月1日、

第5回 2021年12月22日、第6回 2022年2月16日、

第7回 2022年3月14日

②地域代表・青年代表理事会議

会長のもとに、地域代表・青年代表理事会議を必要に応じて開催する。特に今期は構成団体会員の活性化に資する具体的な提案や提言を期待。

◆テーマ・課題

①全国大会の在り方の検討と調整

②ブロック代表者会議の在り方の検討

③都道府県連絡協議会の位置づけの検討

④青年の活性化の検討

⑤女性の役割の検討

⑥地域間、地域内、各協会・クラブのICT活用の推進

\*上記「定款・諸規程改定検討部会」のテーマ「④ポストコロナ時代の総会、理事会、評議員会の在り方の検討」についても検討。

◆構成メンバー

構成団体会員代表理事及び青年代表理事

役員構成：議長 見上理事、副議長 山中理事

◆開催日

2021年9月11日(オンライン開催)、2021年11月1日(オンライン開催)、

2021年12月22日(オンライン開催)、2022年2月28日(オンライン開催)

③連盟幹部会

会長のもとに、連盟幹部会を設置する。

◆役割

統一的施策をスピーディーに実行すべく、各部会・会議間の連携を図る。

◆構成メンバー

会長、理事長、各部会長、地域代表・青年代表理事会議議長

◆開催日

2021年9月10日(オンライン開催)、2021年11月12日(オンライン開催)、

2022年1月14日(オンライン開催)、2022年3月11日(オンライン開催)、

#### ④担当理事

連盟の業務執行において、喫緊または中長期で取り組む必要がある事項について、会長はその担当理事を任命する。

担当理事は当該事項の対応を、事務局担当部と協力して行う。

##### ア. 未来遺産担当理事 南口理事

- ①未来遺産事業の今後の方針案の策定、事業協賛活動等
- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

##### イ. 減災教育・復興支援担当理事 及川理事

- ①減災教育・復興支援事業の今後の方針案の策定
- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

##### ウ. ESD・ユネスコスクール関連担当理事 安田理事

- ①ESD・ユネスコスクール関連事業の今後の方針案（ACCU との連携協働を通じた構成団体会員の活動の活性化施策）の策定
- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

##### エ. 知と平和の文化担当理事 吉田理事

- ①平和をテーマとした各地域ユネスコ協会との研修、研究会などの開催
- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

##### オ. 教育と社会の課題担当理事 小山田理事

- ①社会的課題、特に「貧困家庭の子ども」「外国につながるのある子ども」の教育支援に関する今後の方針案の策定
- ②会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

## 附属明細書

2021 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2022 年 6 月

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟